

- ① 大川・鹿折川水系地下水盆 気仙沼・本吉地域
- ② 北上川水系臨海地下水盆 石巻・矢本地域
- ③ 迫川水系地下水盆 若柳・登米地域
- ④ 江合川水系地下水盆 大崎平野地域
- ⑤ 七北田川水系地下水盆 仙台平野部多賀城・利府・仙台地域
- ⑥ 名取川水系地下水盆 仙台平野部仙台・名取地域
- ⑦ 阿武隈川水系臨海地下水盆 山元・岩沼地域
- ⑧ 阿武隈川水系内陸地下水盆 白石・角田・船岡地域

(2) 地下水盆別概要及び軟弱層分布状況

1) 大川・鹿折川水系地下水盆（気仙沼・本吉地域）

本地下水盆の範囲は、大川、鹿折川、津谷川の河成平野及び河川三角州とする。

特徴としては、平野部は溺れ谷を堆積層が埋積して形成されていること、第四紀層の間には海成の堆積物である軟弱なシルト層が分布していることである。

地下水盆の基盤岩は、気仙沼地区では中～古生層であり、本吉地区では中生層である。

着岩深度は、気仙沼地区の大川河口部で50メートル、河口上流1キロメートル地点で10メートル、鹿折川河口部で40メートル、河口上流1キロメートル地点で10メートルと推定され、本吉地区では、津谷川河口部で40メートル、河口上流1キロメートル地点で10メートルと推定される。

気仙沼地区模式柱状図

地質時代	地 層 名	柱 状 図	厚さm	地 質	備 考
第 四 紀	表 土		< 10	細～中粒砂 (下部に小礫まじる)	帯 水 層
	三角州堆積層		< 10	砂質シルト (細砂層をはさむ)	軟 弱 層
	低 湿 地 堆 積 層		10～15	シルト (有機物・貝がら 小礫まじり)	同 上
	浅 海 性 堆 積 層		15～20	砂 礫	帯 水 層
古 生 代	登 米 層 など			粘 板 岩	

地質時代	地 層 名
第 四 紀	表 土
	河 川 堆 積
	低 湿 地 堆 積
洪 積 世	扇 状 堆 積
	(稲井層群)
中 生 代	三 疊 紀

気仙沼地区において、  
る砂礫層が、本吉地  
積層である砂礫層が  
軟弱層の分布状況  
砂質シルト層、下部  
のシルト質ローム層

2) 北上川水系臨海

本地下水盆の範囲

特徴としては、平  
る北上山地に対して  
た後堆積層がこれ  
間に三列の浜堤群が  
なっていることであ

地下水盆の基盤岩  
鮮新統の泥岩、砂質

着岩深度は、万石  
推定され、釜入江付  
帯水層としては、